社会福祉法人　児童養護施設　フランシスコの町

フランシスコの町だより

第 45 号
平成 30 年 6 月 20 日発行
〒370-3511
高崎市金古町 830－3
TEL：027－373－1021
FAX：027－373－7739
http://www.fransisukonomachi.ecnet.jp

『銀河鉄道の夜』　A.U.

大地と共に生きる
～フランシスコの愛～

理事長　村田　文男

人は土から生まれ土に帰る、と言われていますが、正に人は大地の恵みにより活かされ育まれています。

当施設の理念には「聖フランシスコの愛の精神に倣い、入所してくる児童を養い育てます」とあります。聖フランシスコの愛の精神とは、神を愛し、人を愛し、大地（自然）を愛することです。聖フランシスコは、自然をこよなく愛した聖人であり、それ故自然保護の聖人とも言われています。

聖フランシスコの生き方は施設の運営方針になっています。神を信じて、大地を耕しながら作物を作り、その恵みを大切な子どもに与え育てていく、これぞ聖フランシスコの求める愛の姿ではないでしょうか。

※　※　※

理想の児童養護施設を求め、地域に点在する遊休農地が借用出来て八年目となります。お米も野菜も自給できるようになりました。地域の皆さんの協力のお陰と感謝の日々です。遊休農地の活用は地域の為にもなり施設のお役に立ち一石二鳥の取り組みです。

新年度からまた活用が始まります。

つくしんぼ赤ちゃんの幸せ

施設長　日下幸夫

ここのところ、施設の農園にキャベツとレタス、それにブルーベリーを植え、毎日朝夕水やりに様子を見に行っています。ここ、児童養護施設フランシスコの町は現高崎市の旧群馬町地区にあり、周りはほとんど畑と田んぼ、といういわゆる田園地帯にあります。最寄りの交通機関と言えば、一時間に一本来れば幸運と言えるバスのみ。よって、自動車の無い保護者は一時間以上待たないとバスで帰れないこともしばしば。最近高視聴率を取っていた「ローカルバスの旅…」などの番組では出演者泣かせだろうなぁ、といらぬ心配をしてしまいます。

とにかく春の陽気を感じつつ、フランシスコの町だよりの原稿を書いていましたが、文章が少々硬すぎる等のご意見をいただき、今後、数回に渡り回想録を記そうと思います。

私がフランシスコの町に就職したのは、昭和天皇が御崩御されて間もない平成元年の二月。新しい元号を迎え、世間は何となく落ち着かない雰囲気の中でした。指導員としてお世話になることになり、働き出して一番感じた事は「なんて人間らしい仕事だろう」ということでした。何故ならば、季節を感じることが出来たからです。

節分で豆をまき、ひな祭りでお雛様を飾り、子どもの日には鯉のぼりをあげて、七夕を祝い…と子どもたちと職員が一つになってお祝いをしていました。私はこの職に就く前は仙台でカーディーラーで営業をしていました。その頃は車を売るのに必死で、空を見上げたり、地面に目を凝らしたりして季節を感じることなど微塵もありませんでした。ノルマを達成するためには、オーバーかも知れませんが、騙し騙され裏切られ…の世界でした。

ところがここは、子ども達と一緒に食事をし、お風呂に入り、問題が起これば一緒に悩む。その頃は今のように未就学児を幼稚園に出さず、施設内で見ていました。

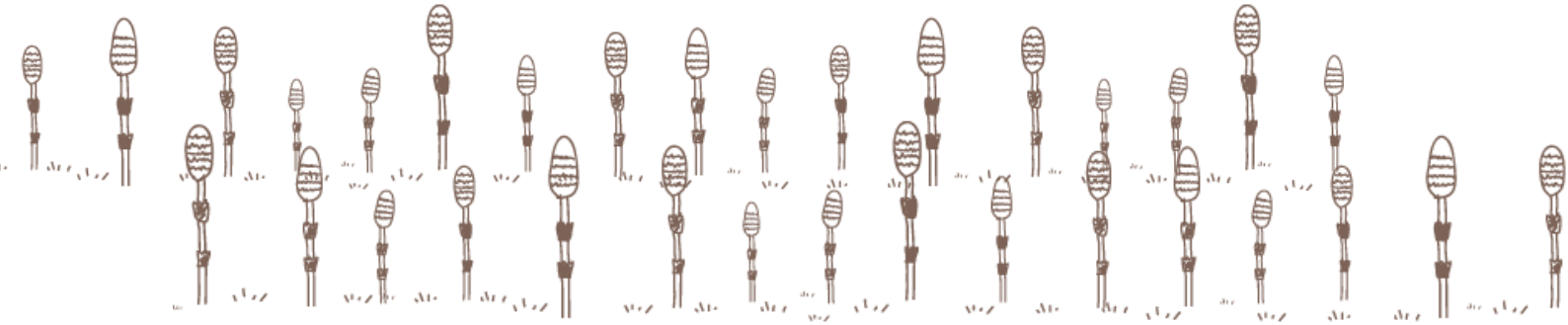
年中以下の子ども達はお昼寝をしていたため、小学校就学前の二、三名の年長児はすることもなく、ふらふらとしていた時間帯がありました。そんな時はその子ども達と一緒に散歩をすることが日課でした。散歩をしながら子ども達の感性の素晴らしさに、はっとさせられることがよくありました。土手を歩いていると「見てみて、つくしんぼの赤ちゃん見つけたよ」と一人の子が言えば、そこからつくしんぼ探しが始まります。「おかあさんつくしんぼ、○○ちゃんつくしんぼ、これはくさかせんせいね。」小川を見つけると草や木の葉のレースが始まります。

なんでも遊びに変えてしまうのは、大人になった私自身が忘れていた気持ちであり、そんな子ども達とゆったりした時間を過ごすことで、私自身も癒され、助けられました。

今は、私も施設長となり、主にパソコンや職員が仕事相手になりました。未就学児童も、年少児から幼稚園へお世話になり、毎日元気よく「いってきまぁーす」と出かけ、「おかえりー、じゃなくてただいまー」と帰ってきます。私もたまには休日、子ども達をマイクロバスに乗せて公園に連れて行くこともありますが、以前のようにゆったりとしたときが流れることはもうありません。今いる子ども達は勿論ですが、あの頃の子ども達も今幸せに暮らしているのだろうか、とふと心によぎります。

フランシスコの町には、今年新任職員が八名入りました。新卒で入ったため、他の職業、職場の正社員としての経験はありません。子ども達と寄り添い生活をしていることが、（大変なことも多々あるでしょうが）本当に大切であり、幸せなことであり、その中からやりがいを見つけ出す日が来ることを心から望みたいと思っています。

またそれは、子ども達のお母さん、お父さん達にも届いてほしい願いでもあるのです。



理事挨拶

齋藤　明美

爽やかな緑の風とともに、「フランシスコの町」の農園には様々な来訪者が現れる。蜂、蝶、美しい羽根をまとった昆虫たち、土壌を豊かにしてくれるミミズ。子ども農園の土たちも子どもたちが何を植えてくれるのだろうかと待っている。

農園を流れる小川のせせらぎは幼虫を育み、蜆も年毎に大きくなり、環境に順応していく術を心得ているという。日常では出会うことの少ない貴重な環境が子ども達の日々を見守っている。フランシスコの町の水田はしっかりと準備を整え、六月十日の田植えを待っている。

内外の多くの方が参加されるこの行事も今年で八回を迎えることになり、近隣の支援者の方々のご協力で、本当に短い時間であの広い田んぼが早苗に埋め尽くされます。子供たちの田んぼも、子どもと参加者が泥だらけになりながらも列を組み手植えされ、負けじと根を張ります。そして数日の間、見守り人が手直しをしてくださり、よりしっかりと根付くのです。

なんでも手に入るこの世の中、フランシスコの町も皆様の温かいご支援の下、子どもたちは美味しい食物に恵まれ、日々を過ごしています。

しかも、こんなに安全で美味しいお米や野菜を食べている施設は少ないのではないでしょうか。私たちはこの恵みを与えてくださる神さまの思いやりを、そして自然を愛する聖フランシスコがいつも見守ってくださることを、聖霊をとおして感じています。

歴史を遡れば、この施設を「フランシスコの町」と命名されたのはカナダ人のフランシスコ会のロック・カルパンチェ神父様であり、カトリックの教えを子ども達への指導精神とすることを旨に昭和二十五年、再発足したのでした。長い年月、子ども達を見守ってくださった聖フランシスコの精神に繋がることが、この社会福祉法人を支える理事としての根幹であり、使命です。担当の先生方の、子どもの帰りを迎えるあの笑顔や、子どもとの信頼によってしっかりとつながれた手に、心温かな指導を垣間見ることが喜びであり、感謝なのです。また今年も豊作となりますようマリア様のお取次ぎを願い、祈りましょう。

6 月 10 日に行われた田植え

野菜作り教室

村田　文男

以前より子ども農園はあったが、反省することもあって、今年四月より月二回にわたり専門家三名による野菜教室を開いている。対象者は「施設の子ども」が中心だが職員も一緒に学ぶことが出来る。

五月六日は、種蒔きと野菜苗の植え付けをし、五月二十六日には野菜の手入れと除草の実施。

作業の中ほどに昨年イチゴを植えた部屋があり、そのイチゴが真っ赤になり食べ頃になっているのを発見。みんなで分かち合い美味しく食べた。採りたてのイチゴを食べた子どもは驚嘆だ。野菜教室にはこんな楽しみがあるから面白い。今日は茄子と胡瓜も収穫があった。これから四季を通して、色々な野菜が栽培される。それらの作り方を体験して、自分で作れるようになれば一生の宝になる。その宝である財産を使っても減ることはなく、使うごとに上達し、良い作物が出来るようになる。これからも農業の楽しみと喜びを残すことなく伝えていきたい。

卒園生の言葉

これからの抱負

私はあまり過去を振り返るのが好きではないので、これから施設を退所した後の抱負を話したいと思います。一つ目はきちんと専門学校へ通い就職することです。当たり前のことです。二つ目はマラソンを始めようかなと考えています。最後に私から少しだけ後輩たちにアドバイスをしたいと思います。高校生に言えることはひとつ。アルバイトをしましょう。中学生に言えることは、部活動を頑張りましょう。どちらも最終的に自分の自信につながります。その他の事は分かりませんが自分が大切だと思うことを一生懸命頑張ってください。Ｔより

太陽
高校生のお兄さん 2 人とチビッ子 6 人のにぎやかな部屋です。チビッ子たちはいつも元気いっぱいに、お兄さん達は自立に向けてメリハリをつけ、いつも仲良く過ごしています。

大地　2 才から高校 2 年生までの活発男子 7 人、みんな仲良し大地です。全員食べ盛りで夕食時 10 合完食することもしばしばあります。職員も児童も一緒になって野球やバスケをして遊ぶことが多いです。甘え上手な子ども達のお陰で笑顔が絶えない部屋となっています。

太陽に配属された青木玲奈です。入職してから 2 ヶ月、忙しくて楽しい毎日を過ごしています。よろしくお願いします！

大地に配属された中西凌一です。子ども達と一緒に人として成長していけたらと思います。よろしくお願いします！

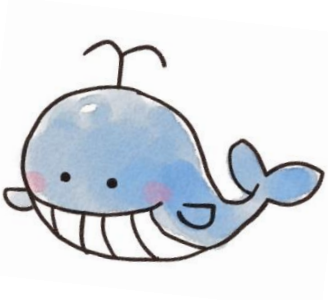
A 棟

青空担当の金丸です。身体を動かすことが好きなので、一緒に体を動かしましょう！

こもれびの担当、仁木志保です。笑顔を忘れずに子ども達と一緒に成長していきたいと思っています！

はじめまして！
B棟フリー職員の須田です。明るく笑顔で頑張ります！

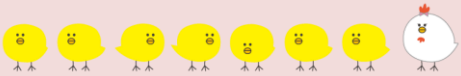
B 棟



☆こもれび☆
幼稚園児～高校生の女子、7 名の部屋です。アイドルやジャニーズ、工作や絵を描くことが好きな、明るくて毎日がとてもにぎやかなお部屋です。

☆青空☆
小学生 4 人、幼児さん 2 人で生活をしている男子のお部屋（ユニット）です。小学生も、幼児もみんなパワフル！とっても元気があります。そして職員のお手伝いをさりげなくしてくれたり、体調を気遣ってくれたり、と優しい面を持っている子ども達が集まっています。

C 棟



C棟は、女の子の棟で「ひだまり」と「そよかぜ」の２ユニットで形成されています。それぞれのユニットの紹介と、今年度の新任職員の紹介をさせていただきます。(C 棟主任：別府)

★そよかぜ【担当職員：押江・関口・富澤】
幼児さん２人、小学生３人、計５人の女の子の部屋です。日頃からお手伝いや掃除等を頑張ってくれる子ども達です。毎日明るく笑顔が絶えないユニットです。

★ひだまり【担当職員：荻原・冨永・笠井】
幼児さん３人、小学生１人、高校生２人、計６人のユニットです。皆元気いっぱいで、おしゃべりとおしゃれが大好き！とても華やか、賑やかな部屋です。

ひだまり担当になりました、笠井理沙です。日々の挨拶や会話を大切に元気に頑張りたいと思います！よろしくお願いします。

C 棟フリーの、吉野聖夜です。子どもたちに負けないくらい元気に明るく頑張ります！

C 棟フリーの吉田真菜です。一期一会を大切に、元気に明るく頑張りたいと思います。よろしくお願いします！

あしかどホーム

地域小規模のあしかどホームは、小学生 5 人、中学生 1 人の 6 人の女の子が一緒に生活をしています。また、担当職員 3 人のうち 2 人は住み込みで、子どもたちと一緒に暮らしています。みんな年齢が近いため、ごっこ遊びや公園へ行くなど、一緒に遊ぶことも多いです。

あしかどホームは本園と離れた場所にあり、育成会や道路愛護など地域行事にも積極的に参加し、地域の方々と交流する機会がたくさんあります。

家庭的な雰囲気の中で、地域の皆さんと交流しながら、子どもも職員も日々、良い経験を重ねています。

29 年度後期　行事

12 月　井川さんがアイシングクッキーを教えてくれました☆

12 月　クリスマス会の様子・左は職員による聖劇、右は小学生によるソーラン節です。

3 月　ウルトラマンが遊びに来てくれたよっ！ジュ

七五三お祝い、ありがとう

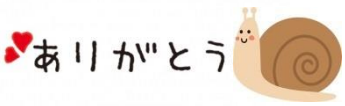
『きものをきせてくれたり、おけしょをしてくれたり、しゃしんをとってくれたりしてくれてありがとうございました。おかしとか、ケーキがもらえたり、たべられてよかったです。はじめての七五三は七才だったから、三才もやりたかったです。たのしかったおもいでになりました。Mより』

『はかまをきせてくれてありがとう。Mちゃんといっしょにしゃしんをとれてうれしかったです。ケーキとコーラもたべたりのんだりできてうれしかった。いろいろしてくれてありがとうございます。Ｓより』

運転免許取得のご支援について

今年も 2 名の卒園生が自動車運転免許を取得することが出来ました。

社会福祉法人群馬県共同募金会の「NHK 歳末助け合い」の活動と、上毛新聞による「愛の募金」より、ご支援を頂いたおかげです。毎年、多大なご支援を頂きまして、心より感謝申し上げます。



平成 30 年度　　行事予定（7～11 月）

7 月　夏の生活訓練…各棟で海や山に出かけます。
10 月　ミニサッカー大会…去年は優勝しました！
稲刈り…6 月に植えた稲の収穫です。
11 月　収穫祭…みんなで収穫を祝いましょう。
高崎北ライオンズクラブ一日里子

平成 29 年度の苦情解決

苦情解決報告

苦情・要求件数　６０件（保護者０件・職員０件・地域住民０件・児童６０件）
内容　施設設備７件　職員資質１１件　施設生活４２件

平成２９年度は６０件すべてが児童からの苦情（意見・要望）でした。苦情の中に「遊び場を増やしてほしい」という要望がありましたが、現在、施設では老朽化した遊具を撤去し新しい遊具を庭に設置することを検討中です。子どもたちが楽しく遊べる場所を提供できるよう努めてまいります。

このように出された苦情、意見を月に１回（主に第 2 土曜日）、外部より第三者委員２名（元教諭、地元の主任児童委員）を招いて苦情解決委員会を開催し、対応を協議しています。結果を事務室前掲示板に張り出すとともに当事者には担当者から個別に伝え、苦情解決に当たっています。

平成29年度　計算書類

社会福祉事業　資金収支計算書

（自）平成29年 4月 1日（至）平成30年 3月31日

（単位：円）

勘定科目			予算(A)	決算(B)	差異(A)−(B)
事業活動による収支	収入	児童福祉事業収入	221,631,000	246,392,883	△ 24,761,883
		就労支援事業収入	2,000,000	1,869,984	130,016
		障害福祉サービス等事業収入	29,750,000	29,557,879	192,121
		収益事業収入	5,800,000	5,573,475	226,525
		経常経費寄附金収入	9,500,000	6,233,100	3,266,900
		雑収入	4,700,000	3,769,866	930,134
		受取利息配当金収入	23,000	4,542	18,458
		事業活動収入計(1)	273,404,000	293,401,729	△ 19,997,729
	支出	人件費支出	206,095,000	207,190,460	△ 1,095,460
		事業費支出	53,526,000	46,953,164	6,572,836
		事務費支出	19,741,500	16,530,216	3,211,284
		就労支援事業支出	550,000	524,410	25,590
		事業活動支出計(2)	279,912,500	271,198,250	8,714,250
	事業活動資金収支差額(3)=(1)−(2)		△ 6,508,500	22,203,479	△ 28,711,979
施設整備等による収支	収入	固定資産売却収入	0	47,257,664	△ 47,257,664
		施設整備等収入計(4)	0	47,257,664	△ 47,257,664
	支出	設備資金借入金元金償還支出	1,300,000	1,300,000	0
		固定資産取得支出	5,300,000	50,453,732	△ 45,153,732
		施設整備等支出計(5)	6,600,000	51,753,732	△ 45,153,732
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)−(5)		△ 6,600,000	△ 4,496,068	△ 2,103,932
その他の活動による収支	収入	積立資産取崩収入	0	4,478,266	△ 4,478,266
		サービス区分間繰入金収入	2,500,000	2,500,000	0
		その他の活動収入計(7)	2,500,000	6,978,266	△ 4,478,266
	支出	積立資産支出	0	△ 25,144	25,144
		事業区分間繰入金支出	100,000	0	100,000
		拠点区分間繰入金支出	150,000	250,000	△ 100,000
		サービス区分間繰入金支出	2,250,000	2,250,000	0
		その他の活動支出計(8)	2,500,000	2,474,856	25,144
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)−(8)		0	4,503,410	△ 4,503,410
予備費支出(10)			0	――――	0
当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)−(10)			△ 13,108,500	22,210,821	△ 35,319,321
前期末支払資金残高(12)			36,492,000	86,626,855	△ 50,134,855
当期末支払資金残高(11)+(12)			23,383,500	108,837,676	△ 85,454,176

（自）平成29年 4月 1日（至）平成30年 3月31日

（単位：円）

勘定科目			当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)−(B)
サービス活動増減の部	収益	児童福祉事業収益	246,392,883	252,173,708	△ 5,780,825
		就労支援事業収益	1,869,984	0	1,869,984
		障害福祉サービス等事業収益	29,557,879	29,505,843	52,036
		収益事業収益	5,573,475	5,425,706	147,769
		経常経費寄附金収益	7,181,980	9,326,983	△ 2,145,003
		雑収入	3,769,866	7,304,039	△ 3,534,173
		サービス活動収益計(1)	294,346,067	303,736,279	△ 9,390,212
	費用	人件費	206,964,860	196,750,065	10,214,795
		事業費	47,902,044	58,722,853	△ 10,820,809
		事務費	16,530,216	16,415,606	114,610
		就労支援事業費用	524,410	538,220	△ 13,810
		減価償却費	21,419,183	17,179,207	4,239,976
		国庫補助金等特別積立金取崩額	△ 8,084,982	△ 7,947,481	△ 137,501
		退職給与引戻入	356,496	379,616	△ 23,120
		その他の費用	285,186	67,804	217,382
		サービス活動費用計(2)	285,897,413	282,105,890	3,791,523
	サービス活動増減差額(3)=(1)−(2)		8,448,654	21,630,389	△ 13,181,735
サービス活動外増減の部	収益	受取利息配当金収益	4,542	14,325	△ 9,783
		サービス活動外収益計(4)	4,542	14,325	△ 9,783
	費用				
		サービス活動外費用計(5)	0	0	0
	サービス活動外増減差額(6)=(4)−(5)		4,542	14,325	△ 9,783
経常増減差額(7)=(3)+(6)			8,453,196	21,644,714	△ 13,191,518
特別増減の部	収益	サービス区分間繰入金収益	2,500,000	40,000,000	△ 37,500,000
		その他の特別収益	285,384	61,510	223,874
		特別収益計(8)	2,785,384	40,061,510	△ 37,276,126
	費用	固定資産売却損・処分損	0	1,014,187	△ 1,014,187
		拠点区分間繰入金費用	250,000	0	250,000
		サービス区分間繰入金費用	2,250,000	40,000,000	△ 37,750,000
		特別費用計(9)	2,500,000	41,014,187	△ 38,514,187
	特別増減差額(10)=(8)−(9)		285,384	△ 952,677	1,238,061
当期活動増減差額(11)=(7)+(10)			8,738,580	20,692,037	△ 11,953,457
繰越活動増減差額の部	前期繰越活動増減差額(12)		222,763,801	180,079,764	42,684,037
	当期末繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)		231,502,381	200,771,801	30,730,580
	基本金取崩額(14)		0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)		4,667,540	34,992,000	△ 30,324,460
	人件費積立取崩		400,000	0	400,000
	施設積立金取崩額		4,267,540	34,992,000	△ 30,724,460
	その他の積立金積立額(16)		0	13,000,000	△ 13,000,000
	修繕積立金積立		0	13,000,000	△ 13,000,000
	基本金組入額(16)		0	0	0
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)−(16)		236,169,921	222,763,801	13,406,120

社会福祉事業　貸借対照表

平成30年 3月31日現在

（単位：円）

資産の部	当年度末	前年度末	増減	負債の部	当年度末	前年度末	増減
流動資産	112,465,020	121,733,597	△ 9,268,577	流動負債	4,927,344	36,406,742	△ 31,479,398
現金預金	86,800,344	95,726,666	△ 8,926,322	事業未払金	0	31,398,828	△ 31,398,828
未収金	23,379,923	23,952,755	△ 572,832	その他の未払金	2,002,919	2,165,287	△ 162,368
立替金	2,284,753	1,971,016	313,737	１年以内返済予定設備資金借入金	1,300,000	1,300,000	0
前払金	0	83,160	△ 83,160	未払費用	382	8,271	△ 7,889
				預り金	2,552	87,146	△ 84,594
				職員預り金	1,621,491	1,447,210	174,281
固定資産	567,550,039	590,561,750	△ 23,011,711	固定負債	9,359,068	10,813,556	△ 1,454,488
基本財産	267,265,235	274,694,874	△ 7,429,639	設備資金借入金	7,800,000	9,100,000	△ 1,300,000
土地	36,174,464	36,174,464	0	退職給付引当金	1,559,068	1,713,556	△ 154,488
建物	231,090,771	238,520,410	△ 7,429,639	負債の部合計	14,286,412	47,220,298	△ 32,933,886
その他の固定資産	300,284,804	315,866,876	△ 15,582,072	純資産の部			
建物	54,995,509	13,329,467	41,666,042	基本金	80,939,522	80,939,522	0
建物付属設備	3,057,305	1,567,471	1,489,834	基本金	80,939,522	80,939,522	0
構築物	14,526,436	15,623,844	△ 1,097,408	国庫補助金等特別積立金	169,034,473	177,119,455	△ 8,084,982
車輌運搬具	4,908,618	7,197,419	△ 2,288,801	国庫補助金等特別積立金	169,034,473	177,119,455	△ 8,084,982
器具及び備品	40,804,433	43,981,076	△ 3,176,643	その他の積立金	179,584,731	184,252,271	△ 4,667,540
建物	356,162	390,678	△ 34,516	その他積立金	179,584,731	184,252,271	△ 4,667,540
建設仮勘定	0	47,257,664	△ 47,257,664	次期繰越活動増減差額	236,169,921	222,763,801	13,406,120
退職給付引当資産	1,592,500	1,713,556	△ 121,056	（うち当期活動増減差額）	8,738,580	20,692,037	△ 11,953,457
その他の積立資産	179,584,731	184,252,271	△ 4,667,540				
その他固定資Ａ	105,410	105,410	0				
その他固定資産パソコンソフト	353,700	448,020	△ 94,320	純資産の部合計	665,728,647	665,075,049	653,598
資産の部合計	680,015,059	712,295,347	△ 32,280,288	負債及び純資産の部合計	680,015,059	712,295,347	△ 32,280,288

皆様の善意に感謝いたします

（平成 29 年 11 月 1 日～平成 30 年 5 月 31 日までに頂いたものについて）

寄贈品を下さった方々（順不同、敬称略）

宮川、高崎更生保護女性会、濱名広美、仁木周平・いずみ、山田製作所、山口晋二、小木、柳澤千恵美、奥村、奥野、中田、じゃんけんぽん、ふらっとホーム、奥野彩子、大津、Team the 群馬、JR 東労組高崎地方支部、高崎健康福祉大学、群馬児童館、サレジオ学園、フィリップモリス、岩田養鶏場、山口正義、ぐんま幼稚園、ガトーフェスタハラダ、マルハン、中曽根、全国シャンメリー協同組合、金谷、中澤商店、太田市民生委員、北川眼科、タカモリ、育成会、中沢リンゴ園、佐藤自動車塗装、今井靖彦、全ヤオコー労働組合、田端、カトリック高崎教会、清水恵里、樺沢大和、櫛渕千恵子、関口哲史、岡田賢一、川崎大、ほっともっと、前橋空調機器サービス、丹羽稔、松原、田村良一、西川宥也、桃屋、ナカツトマト、神奈川柑橘果工、寿食品工業、サスナ、高木商店、静岡 JA フーズ、丸善食品工業、三育フーズ、日東ベスト、サンヨー缶詰、コストコ、渡邉、群馬医療福祉大学、群馬社会福祉専門学校、高崎市主任児童員連絡会、納豆の展示会、育英短期大学、東京福祉大学、ダスカジャパン、その他匿名の方々

寄付金（順不同、敬称略）

NPO 法人 TEEP、斉田典之、お告げのフランシスコ姉妹会、高崎天使幼稚園、上毛新聞愛の募金、前橋北ロータリークラブ、国際ソロプチミスト高崎、友の会、赤い羽根共同募金会、坂井勉、ビジネスブレイン、新井商会、JA 共済連、いくこフラスクール、DIC 労働組合群馬工場支部、DIC グラフィックス群馬工場、手島武雄、仁木周平・いずみ、筑波データシステム、奥野彩子、田中真理子、齋藤明美、櫻井美代子、岸栄一、高松雅子、岡野勇、沼田市善意銀行、木村正男、その他匿名の方々

前橋北ロータリークラブ様よりサッカーユニフォームの寄贈を頂きました。今年も、目指せ優勝、そして勝ち取れ連勝！

編集後記

昨年度は年 2 回の発行となった「町だより」ですが、今年度はさらに 1 回増えて年 3 回の発行となる予定です。施設の様子、子どもたちの日々の生活や成長の様子をより身近に感じていただければと思います。今後も皆様のご指導、ご支援をよろしくお願いいたします。（武井）

ボランティアの方々（順不同、敬称略）

学習支援：桜井正彦、木暮達也、新井真澄、斉藤裕恵、宇治田小百合、山口正義

読み聞かせ、遊び：群馬県青年赤十字奉仕団、田端紀美子、大野幸子

学生ボランティア：松田菜々（高崎健康福祉大学）、佐藤栄太、青山怜奈（群馬医療福祉大学）